

認めてほしいこと

長久手市立北中学校

二年 曾根田 莉央

最近、ニュースなどでよく「ジェンダー」や「同性愛」、「LGBTQ」という単語を見聞きします。私はそれらが何なのか、そして私にどう関係するのかが気になっていたので、主張のテーマにしました。

そのニュースでは、「同性愛差別発言で議員退職」や、「選べる制服導入広がる」などの報道がされていきました。

「選べる制服導入」は、長久手市内の中学校でも導入されており、セーラー服と学ランだったのを、ブレザーに変え、スカートとズボン、ネクタイとリボンが選択制になりました。生徒が選べるようになったことにより、性同一性障害の人や、トランスジェンダーの人に優しくなったのではないかなと思いました。

「同性愛差別発言で議員退職」で、私はその退職した議員に怒りが込み上げてきました。恋愛は個人の自由であるべきはずです。それ

なのに差別したり否定したりと、自由なはずなのに、異性を好きになることが当然という概念に縛られて、自由でなくなってしまうのは違うと思います。その人の恋愛はその人のものです。決して他人のものではありません。自分が男か女か、気持ちや心は自分にしか分かりません。他人から見ると、その人は本当に自分が思っている性別なのか、同性が好きなのか、異性が好きなのかなんて分かりません。それくらい繊細で不明瞭なことなのに、どうして人にとやかく言われたいいけないのでしょうか。

では、もし周りに同性が好きな人、心の性と体の性が違う人などがいたら、あなたはどうしますか？距離を置きますか？差別しますか？否定しますか？それとも、応援したり、他の距離を置く・差別する・否定する人から守ってあげたりしますか？私はもちろん応援したり、他の距離を置く・差別する・否定する人から守ったりしてあげます。私は告白されたり、告白したりという経験はありません。ですが恋をする人の心境や苦しい気持ちは分

かります。それならみんな分かるはずです。一度は恋をしたことがあるはずだから。同性愛でない場合は応援するのに、同性愛の場合には応援しないというのも一種の差別だと思いません。私はそんな差別をしたくないというのもあります。ありますが、どんな形の恋でも応援してあげたいと思うから、そしてたとえ他の人がその人を差別・否定しても、私だけでもその人の味方でありたいと思うから、そういう選択をしました。

最近話題になり始めただけで、同性愛やLGBTQは最近始まったことではないと思います。なぜならみんながみんな異性が好きになるというテンプレートに当てはまるわけがないからです。そのテンプレートにみんなが当てはまるなら、この世は同じような人であふれていると思います。この世にはいろいろな種類の人間がいて、いろいろな種類の生き方をしているはずなので、一部は似ていても、まったく同じな人間なんているはずがないのです。それと同じように、恋にもいろいろな種類があると思います。同性愛の中にもいろいろな

種類があったり、同性愛者の人もいろんな性格だったりといろんなものがあるので、ひとくくりにしてしまうのは違うと思います。

今は話題になり始めたばかりなので、変な目で見られるかもしれませんが。でもそのうち同性愛やLGBTQなどの知識がついて、理解されて普通になって、差別・否定をされなくなつて、私のような人が増えて。大人のみなさんには、そんな道をたどれるようにいち早く理解を深めていただき、世の中を変えていってほしいと思います。だから、同性愛者の方々は、自分の気持ちを押し殺さず、ありのままに生きてください。それが私の一番の願いです。